

会 議 録

1 会議名

令和3年度第1回上越市地域包括支援センター運営協議会

2 議題（全て公開）

- (1) 地域包括支援センターの概要と運営協議会について
- (2) 令和2年度地域包括支援センターの業務実績について
- (3) 令和3年度地域包括支援センターの業務について

3 開催日時

令和3年8月20日（金）※書面開催

4 開催場所

-

5 傍聴人の数

-

6 非公開の理由

なし

7 書面会議に参加した者の氏名（敬称略）

- ・委員：和栗健、植木信宏、田中美紀、竹内明美、馬場隆信、
白倉由利枝、宮越亮、内藤伸子、江部健幸、金澤責、佐藤正孝、
吉村敏樹、加藤智範、河原畑尚美、竹田徳子
- ・事務局：笠原福祉部長
すこやかなくらし包括支援センター 渡辺所長、岩崎次長、柳澤次
長、高宮上席社会福祉士長、福田副所長、佐藤保健師長、板垣主任、
坪井主任
高齢者支援課 小林課長、小松係長
福祉課 宮崎課長、牛木副課長

8 内容（要旨）

- (1) 開会
- (2) 委嘱状の交付

(3) 会長副会長の選出

会長及び副会長の選任について事務局案を提案し、15人全員から「承諾する」と回答があったため、上越市地域包括支援センター運営協議会設置要綱第5条に基づき以下のとおり選任する。

会 長：金澤責

副会長：河原畑尚美

(4) 議事

別紙のとおり

9 問合せ先

福祉部すこやかなくらし包括支援センター支援係

TEL：025-526-5623

E-mail：sukoyaka@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。

令和3年度第1回地域包括支援センター運営協議会（書面会議）の質問・意見に対する回答一覧

No.	委員	意見・質問	資料 ページ	回 答	回答課
1	植木 信宏	別紙3の1-(1) -①総合相談支援業務の相談対応実績について、ほとんどの実績が令和元年度よりも令和2年度が減少しているのは新型コロナウイルス感染症の影響が出ているのか。	別紙3	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、高齢者が集まる場等が減少したほか、交流を自粛する傾向があったことから、総合相談の件数が減少したものと考えます。 ・一方、高齢者単身世帯等の実態把握においては、感染予防対策を講じた上で例年どおり訪問を行い、支援が必要な人の早期発見、早期対応につながるよう活動を行いました。 	すこやか なく らし包 括支援 センタ ー
2	植木 信宏	別紙3の1-(3) 生活困窮者業務の延べ件数について、対応実績が4,276となっているが、現在おおよそどれくらいの困窮者が潜在していると予測しているか。	別紙3	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は生活困窮者業務の新規件数が319人、生活保護申請の相談が515件（同一者の複数相談も含む）となっていますが、自ら困窮状況を発信できない方もいらっしゃるため、具体的な潜在困窮者数は予測が難しいと考えています。 	福祉課
3	植木 信宏	今回のコロナが間接的に影響し、精神疾患、生活困窮者が増えてくるのが危惧されることを踏まえ、さらなる対策を考えていく事も今後必要ではないだろうか。	-	<ul style="list-style-type: none"> ・離職などから社会との接点を失い、その状態が長期化することで精神疾患や困窮に陥るケースも多く、深刻な状態になる前に困っている人を相談に結びつけるため、広く相談窓口や制度の周知を行うとともに、引き続き地域包括支援センター等の関係機関とともに支援に取り組んでまいります。 	福祉課

No.	委員	意見・質問	資料 ページ	回 答	回答課
4	竹内 明美	別紙3の2「令和2年度重点取組業務」(1)介護支援専門員への支援について、高齢者の自立支援を栄養面から考えるとあるが、どのように栄養面から考えていくのか。	別紙3	・ケアマネジャーが、適切な食事内容や血液検査の結果の見方などを学び、栄養面から利用者の状態を把握し、指導することで、利用者自身が疾病の重症化予防や介護の重度化予防に取り組めるようにします。	すこやかなくらし包括支援センター
5	竹内 明美	令和3年度の業務について、1月は大雪(雪災害)のため民生委員のいない地域では大変困っていたが、独居高齢者宅の支援など想定外対策はどのように考えているか。	別紙4	・民生委員がいない地域における独居高齢者宅の支援などは、町内会長に対応していただいています。 ・また、今回のような大雪災害時には、地域包括支援センターをはじめ、居宅介護支援事業所、社会福祉協議会による安否確認などを行う体制をとっています。	高齢者支援課
6	白倉 由利枝	別紙3の1-(1)-④で介護予防への取り組みであるチェックリストの実施と資源活用状況を教えてください。	別紙3	・令和2年度末のチェックリスト該当者は592人でした。チェックリスト該当者は、地域包括支援センターが作成する介護予防ケアプランに基づき、介護保険サービス事業者が提供する訪問型又は通所型サービスを利用いただくほか、住民主体による訪問型サービスB(家事支援、話し相手など)や通所型サービスB(介護予防教室)を利用いただくことで、介護の重度化防止を図っています。	高齢者支援課

No.	委員	意見・質問	資料 ページ	回 答	回答課
7	宮越 亮	<p>参考資料3 地域包括支援センター運営事業委託仕様書について</p> <p>地域包括支援センター運営事業は別紙1「地域包括支援センターの概要について」の1にあるように、介護保険法第115条の46 地域包括センターを根拠に設置され、事業委託されていることが容易に理解できるが、地域包括支援センター運営事業委託仕様書のP2(2) 障害者等(ひきこもりの人も含む)支援業務の①障害者等相談支援事業業務の法的根拠がどこにも表記されていない。</p> <p>市単独事業ならばその根拠を示すべきで、法的根拠等に基づく事業であるならば、それを明確に事業委託仕様書に明記すべきだと考える。委託される側に委託根拠を示すことは大切なことだと考える。</p>	参考資料3	<p>・「障害者等支援業務」は、当市独自の取組であります。なお、業務委託仕様書は、委託する業務の内容、手順、納入する成果物の仕様等、業務に関する仕様を定めるものであり、市では、特に必要な場合を除き、根拠法令等は記載しておりません。</p>	福祉課 すこやかなくらし包括支援センター

No.	委員	意見・質問	資料 ページ	回 答	回答課
8	宮越 亮	<p>参考資料3 地域包括支援センター運営事業委託仕様書について</p> <p>(2) 障害者等（ひきこもりの人を含む）支援業務という表現だが、障害者等の「等」は、ひきこもりの人をさすのか、それとも「等」の意味は別にあるのかがこの文脈ではわからない。障害者総合支援法第2条では、「障害者等」の「等」は障害児童をさすことは明確に示されている。そう読み込んだ場合、地域包括支援センターは障害児童にも関わるとも取れる。私としては、障害者総合支援法の第77条第1功第3号に沿った、相談支援事業をきちんと位置付け（特に障害児童、障害児の保護者、障害児の介護者からの相談にどう対応するかを明確にしたうえで）、ひきこもりの人の支援は市独自の支援対象として別に表記すべきだと考える。</p>	参考資料3	<p>・仕様書4(2)の「障害者等（ひきこもりの人）」とは、障害のある人やひきこもりの人、その他何らかの支援が必要な人を指しますが、ご指摘のように表記が曖昧であることから、当該部分について表記の修正を検討します。</p> <p>・なお、18歳未満の障害児を含む児童については、すこやかなくらし包括支援センターと保育園、小中学校等が連携し、支援を行っています。</p>	福祉課 すこやかなくらし包括支援センター

No.	委員	意見・質問	資料 ページ	回 答	回答課
9	内藤 伸子	別紙3の(2) 障害者等支援業務について、令和2年度より始まった業務であるが、成果や今後に向けての課題や方向性等も協議して行わなければならないと思います。(感想)	別紙3	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の成果や課題、今後の方向性について、地域包括支援センター職員や関係機関、市民等の意見を聞きながら、協議してまいります。 	すこやか かなく らし包 括支援 センター 福祉課
10	江部 健幸	別紙3の(3) 生活困窮者支援業務について、各地域包括支援センターで受託している自立相談支援事業と、当法人(みんなでき)で受託している就労準備等支援事業のよりよい連携のあり方を引き続き検討していきたい。	別紙3	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターが受けた就労に関する相談について、就労準備等支援事業にスムーズにつながるよう、委託課としても連携方法等について、検討してまいります。 	福祉課

No.	委員	意見・質問	資料 ページ	回 答	回答課
11	江部 健幸	<p>自立相談支援についての包括ごと相談数にバラつきがあるようだが、この部分への手だてはどのようにしていくのか、検討した方がよいと思う。</p>	別紙3	<ul style="list-style-type: none"> ・すこやかにくらし包括支援センターでは、地域包括支援センター職員との意見交換を定期的に行っています。 ・意見交換では、相談支援に関する負担については、相談数の多寡よりも相談対応の難しさにあるとのこと。 ・対応に苦慮するケースについては、すこやかにくらし包括支援センターや福祉課によるフォロー体制を整えているほか、月1回のケース検討会や定期的な研修会を通じて職員の対応力の向上に努めており、着実に職員のスキルアップが図られてきています。 ・今後も、受託法人や職員の皆さんの意見を聞きながら、必要な対応について検討していきます。 	福祉課
12	河原畑尚美	<p>別紙3-3, 3-4 地域包括支援センターの事業評価について、コロナ禍において会議や検討会の開催ができずに大変だったと思うが、この機会にオンラインでのコミュニケーション方法や会議についてもそのシステムも以前よりも整えられた点もあると思う。今後有効活用すべきと思うが、体制整備の状況について課題などあるのか。</p>	別紙3-3, 3-4	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、すべての地域包括支援センターと、オンライン会議等を行っています。今後も、集合型での会議等の開催が難しい場合には、オンラインで行っていきます。 	すこやかにくらし包括支援センター

No.	委員	意見・質問	資料 ページ	回 答	回答課
13	竹田 徳子	別紙3の1-(1)-②高齢者虐待の内容はどのようなものか	別紙3	・高齢者虐待の内訳は身体的虐待、心理的虐待、介護放棄です。虐待発生の背景には、被虐待者の認知症の進行や介護の負担増や精神的な疲れなどが見受けられます。	すこやか かなく らし包 括支援 センタ ー
14	竹田 徳子	別紙3の1-(1)-③介護支援専門員への相談対応の内容はどのようなものか	別紙3	・虐待がある、キーパーソンや身内がいらないなど、ケアマネジャー単独での支援が困難なケースの場合、助言や同行などを行っています。	すこやか かなく らし包 括支援 センタ ー
15	竹田 徳子	別紙3の(2)①ひきこもりの相談はどのような内容か	別紙3	・主な相談内容は、対人関係等がうまくいかない、退職後ひきこもっている、医療受診や就労につながらない等です。家族は心配をしているが、本人は外部の支援を希望せず、直接関わるのが難しいことが多くあります。家族が要介護状態になり、顕在化してくるケースもあります。	すこやか かなく らし包 括支援 センタ ー

No.	委員	意見・質問	資料 ページ	回 答	回答課
16	竹田 徳子	別紙3の2-(3)地域ケア推進会議において、「地域での見守り」をテーマに開催しているが、地域の住民にはどのように伝えているか。住民が、具体的な行動ができるようにしてほしい。	別紙3	<p>地域ケア会議に参加している民生委員・児童委員や町内会長などに次のように依頼しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの地域の見守りについて検討し、ひとりでも多くの地域住民が近隣の人の異変に気付く意識を持つよう働きかける。 ・各地域において事あるごとに高齢者の見守りについて話題に挙げる。 ・市の見守り事業のチラシを、町内会に回覧していただく。 	高齢者 支援課
17	竹田 徳子	別紙3-3の(2)終結条件を共有していないということだが、その後、どのようになったか	別紙3- 3	<ul style="list-style-type: none"> ・終結条件については、地域包括支援センターの巡回訪問等で共有を図ります。 	すこやか かなく らし包 括支援 センタ ー
18	竹田 徳子	別紙3-3の(2)コロナ禍で事例検討などができない状況が継続しているが、今後の対応策は	別紙3- 3	<ul style="list-style-type: none"> ・現在も新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、会場に集合して実施する検討会等の開催が難しい場合には、オンラインでの実施などICTの活用を推進します。 	すこやか かなく らし包 括支援 センタ ー

No.	委員	意見・質問	資料 ページ	回 答	回答課
19	竹田 徳子	別紙3-4 (1) 地域ケア個別会議のモニタリングの体制は、現在どのように活用されているか	別紙3-4	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア個別会議の終了後3か月間の変化をまとめ、地域包括支援センターから報告を受けています。専門職の助言を振り返りにつなげ、地域包括支援センター職員の資質向上を図っていきます。 	すこやか かなく らし包 括支援 センター
20	竹田 徳子	別紙3-4 (2) 事例検討会等の開催支援の課題について、解決策は	別紙3-4	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、地域包括支援センターにおいては、オンラインでの会議や研修会等が実施できる体制が整っており、今後オンラインでの会議等の開催など、ICTの活用を推進します。 	すこやか かなく らし包 括支援 センター
21	竹田 徳子	別紙4 (2) 医療・介護連携の推進について、重度障害者の介護をしてきた者として、多職種の連携体制の大切さを身にしみて感じる。医療と介護の連携強化のための取組を望む。	別紙4	<ul style="list-style-type: none"> ・医療や多職種との連携が図られるよう、地域連携連絡票の活用を推進するとともに、地域ケア推進会議等を通してネットワークづくりに取り組みます。 	すこやか かなく らし包 括支援 センター

No.	委員	その他感想	資料 ページ	回 答	回答課
1	和栗 健	<p>介護支援専門員として業務に携わる中で、以前よりも独居高齢者や家族関係が希薄で親族からの支援が望めない方、更に困窮、障害など複合的な問題を抱えている方や世帯が多くなっていると感じる。その中で、地域包括支援センターと居宅介護支援事業所が連携を深める必要性は益々高くなっていると思う。介護支援専門員としても、複合的な課題を抱えた世帯全体の問題解決に向けて、地域包括支援センターと居宅介護支援事業所が共同し、協力することが出来るように努めていきたい。</p>	-		すこやか かなく らし包 括支援 センタ ー 高年齢 支援課
2	白倉 由利枝	<p>高齢者、障害、困窮など幅広い分野とケースが抱える課題も多く個別への支援に長期的かつ頻回に対応が必要な中、連携を保ち関係機関とやり取りを頂き感謝している。</p>	-		すこやか かなく らし包 括支援 センタ ー

No.	委員	意見・質問	資料 ページ	回 答	回答課
3	竹田 徳子	別紙3-5の1(1)について、縦割りではなく、世帯を丸ごと対応することで、その世帯の状況や本当の困りごとが見えてくるので、良い取組だと思う。	-		すこやか かなく らし包 括支援 センタ ー
4	竹田 徳子	別紙3-5の1-(2) 頻繁に同じ相談者から電話がかかってくるのは、信頼感の表れだと思う。	-		すこやか かなく らし包 括支援 センタ ー